

1. 日時

2022年11月2日(水)19:00～21:00

2. 場所

Zoom(Web会議システム)

3. 出席者

(敬称略順不同)

近藤、中村、新谷、山本、小倉、河村、鈴木(記)以上8名

4. 議題

(1)活動方針に沿った研究会活動

(2)次年度の活動について

5. 議事

(1)活動方針に沿った研究会活動

中村氏より、事業所向けBABOK研修計画の資料を説明いただいた。初めにBABOKについてテキストに沿って解説し、次にケーススタディとして、事業所長方針をBABOKに沿って戦略に落としゆく内容。説明後に、出席者から下記意見を頂戴した。

目的・目標の記載について、定量的な評価基準が曖昧な印象を受けた。KPIを明確化すると良いと思う。

資料は綺麗にまとまっているが、VALUE、価値という観点で、潜在価値をBABOKで明らかにすることで、実在価値を導き出すことが、活動の根本だと思う。受講者にそこを腹落ちしてもらえるかがポイントではないかと思う。

研修テキストを中村氏がまとめて講義する形では、負荷も大きく、ともすれば視点が偏りがち。ワークショップを通して、身近なテーマからBABOK的な思考を養ってゆくのが良いのではないか。

作成した資料には、書いていながら中村氏自身腹落ちしていない部分もある。自身がBABOKを十分理解できていないとされていて、不安がある。

資料は完成形でなくても、サンプルとすれば良い。みんなで考えましょうで良いのではないか。

今期の活動を通して、流れの中で考えてみると、中村氏がいろいろ社内で活動を行ってきた結果、全社的に仲間もでき、本社への足がかりもできた。だがやはり本社組織を動かすのは難しかったので、本来計画していた事業所での啓蒙活動に立ち戻り、研修実施の事業所長承認をとるところまで、漕ぎ着けている。ここまでの活動は決して無駄ではなく、間違ってもいない。テキスト内容にしても、気になる点があるかもしれないが、それもワークショップのテーマとして議論をしてゆき、みんなが改善策に気づけば、良いものができてゆくと思われる。愚直にやってゆく作戦で良いのではないか。

テキストは力作となっている。それだけに、ボリュームが多い。初めて接する受講生に要点を掴んで貰えるかが心配。提案だが全体はさらっと説明し、ここぞという部分を、まず集中的にやってみるのが良いのではないか。例えば戦略アナリシスがよいかもしれない。

最近ダイエットを始めた近藤氏の実感として、体重も一気に落ちない。会社の体質変化も、一朝一夕には変わらない。小さいものからサイクルを回し始めて、事業所レベルに広げて、利益を産むところまで持ってゆけばよい。

中村氏として、他に考えていることは、今回の活動を通して、デザイン思考に造詣が深い方と知り合うことができたが、フレームワークに詳しいので、うまく連携してみたい。また、研修について、外部講師を呼べるよう、予算措置を進めており、BABOKについて外部講師を招聘するつもり。

(2) 次年度の活動について

長年PM学会名古屋支部BABOK研究会の研究会活動を、中心となって推進してこられた近藤氏より、当研究会の座長を降板したいとの表明があった。PM学会の研究会として、近藤座長なしで運営することは厳しく、PM学会としては活動終了と決めさせていた。

ただ、現在当研究会はIIBAの研究会も兼ねており、形を変えても継続したいとの意見もあり、今後については、近藤、鈴木以外のメンバーの方で、検討いただくこととした。

メンバーの中村氏がPMIJのメンバーであり、PMIJとIIBAの研究会として、活動を継続できるか、持ち帰って検討いただくこととなった。

6. 次回予定

(1) 日程

調整さんで調整後、お伝えいたします。以下URLに候補日を挙げますので、希望日程をご記入ください。

<https://chouseisan.com/s?h=0347f35a7d974ee1961b0a4318de956a>

(2) 場所

ZOOM会議室

(3) 議題

第1部 : 次年度のBABOK研究会の活動計画

第2部 : オンライン忘年会

7. 成果物

成果物は適宜、Slackで共有させていただきます。現在Slackに参加していない方で、共有を希望される方は、お申し出ください。

8. その他

質問事項や疑問点があれば、Slackの「[#2022年度研究活動](#)」に遠慮なく投稿をお願いいたします。アイデアや、意見など、思いついたことがあれば、そちらも遠慮なくお願いいたします。

—以上—